**平成３０年度　事業報告書**

社会福祉法人　福翠会

**１．はじめに**

社会福祉法人福翠会は、平成３年に設立し、翌年の経費老人ホーム（ケアハウス）諫早の里・英智園開設以来、諫早市・東京都において、各種施設を順次整備し、平成３０年４月には、東京都杉並区に幼老一体型の「グループホームたかいどの里」、「杉並たかいどいちご保育園」を開設したことにより、第1種社会福祉事業２事業所、第２種社会福祉事業は１２事業所、そして高齢者生活支援ハウスなど公益事業３事業所を含め、合計１７事業所を運営しており、利用者（児）総定員数７６８人、職員数は２９４人を有する法人となった。

　このように多様な施設を順次開設・運営しながら、本法人は社会福祉事業の担い手として、基本理念である「人・地域・愛情を基軸に、人は心、信頼、安心と安全」を絶えず念頭に掲げ、役職員一丸となって事業運営に邁進してきた。

　一方、社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢社会が進展する中、民間企業等のイコールフッテイングによる参入により、多様な経営主体がサービスの質を競いながら、利用者の利便性を高める厳しい競争環境にあるが、公益法人の本来の使命を果たすべく、施設福祉、地域福祉の向上に取り組んでいる。

さらに、改正社会福祉法の趣旨に則り、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等を進めながら、福祉サービスを通しての地域社会貢献を意識した経営戦略を立て、社会福祉法人としての存在意義を再確認しながら、法人創設の決意を忘れることなく事業に邁進している。

なお、第７期諫早市介護保険事業計画における地域密着型介護老人福祉施設開設に向けた応募については、この度採択を受け、令和２年夏の開設に向け鋭意諸手続きを進めているところである。

以下、事業内容、事業実施状況等、平成３０年度事業の実施結果について報告する。